

「徳島県科学技術振興計画」の改定について

1 改定の背景

現計画の策定から5年が経過し、国においては平成23年に「第4期科学技術基本計画」を策定し、さらに、平成25年6月策定の成長戦略「日本再興戦略」においては「科学技術イノベーションの推進」が大きな柱の一つになるなど、科学技術を取り巻く社会情勢が急速に変化する中、国の科学技術振興政策に対応し、県民が「誇り」と「豊かさ」を実感できる「21世紀の徳島づくり」の羅針盤として、県内の有識者で構成する「徳島県科学技術振興計画改定委員会」での論議を経て、この度、計画の改定案を取りまとめた。

※ 改定作業の経緯

- ・徳島県科学技術振興計画改定委員会（第1回 7/25、第2回 10/3、第3回 12/2）
- ・パブリックコメント（10/30～11/19）

2 改定の概要

(1) 基本目標

科学技術によりとくしまの未来を拓く

(2) 計画の期間

平成25年度から平成29年度まで（5年間）

(3) 戦略的推進分野（「防災・減災」分野への積極的な応用）

- ① ヘルステクノロジー
健康で幸福な県民生活実現に向けた、県民の「健康寿命」の延伸
- ② LEDテクノロジー
「21世紀の光源」であるLEDを利用した光産業のさらなる集積
- ③ フードテクノロジー
6次産業化・農商工連携による新産業の創出加速
- ④ エネルギーテクノロジー
蓄電池活用技術の向上とスマートエネルギーシステムの導入促進
- ⑤ ロボットテクノロジー（追加）
ものづくり技術をはじめ、先端技術を結集したロボット関連産業の育成

(4) 基盤技術の強化（「防災・減災」分野への積極的な応用）

- ① ものづくり技術
- ② ICT技術
- ③ 高機能素材関連技術（追加）